

確定申告、「電子（e-Tax や会計ソフト）で行う予定」が 42.4%、昨年比 15%増と電子申告が大幅増加の見込み

～政府広報 CM も流れ、コロナで電子申告が加速か～

ペーパーロジック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：横山 公一）は、コロナ禍でより加速する電子化の流れと確定申告の関係性について、昨年確定申告を行い、今年も確定申告を行う予定の人かつ昨年対面相談を行った人 111 名を対象に、「コロナ禍における確定申告の実態調査」を実施しました。

■ 調査概要：https://paperlogic.co.jp/news_20210205

調査概要：コロナ禍における確定申告の実態調査

調査方法：インターネット調査

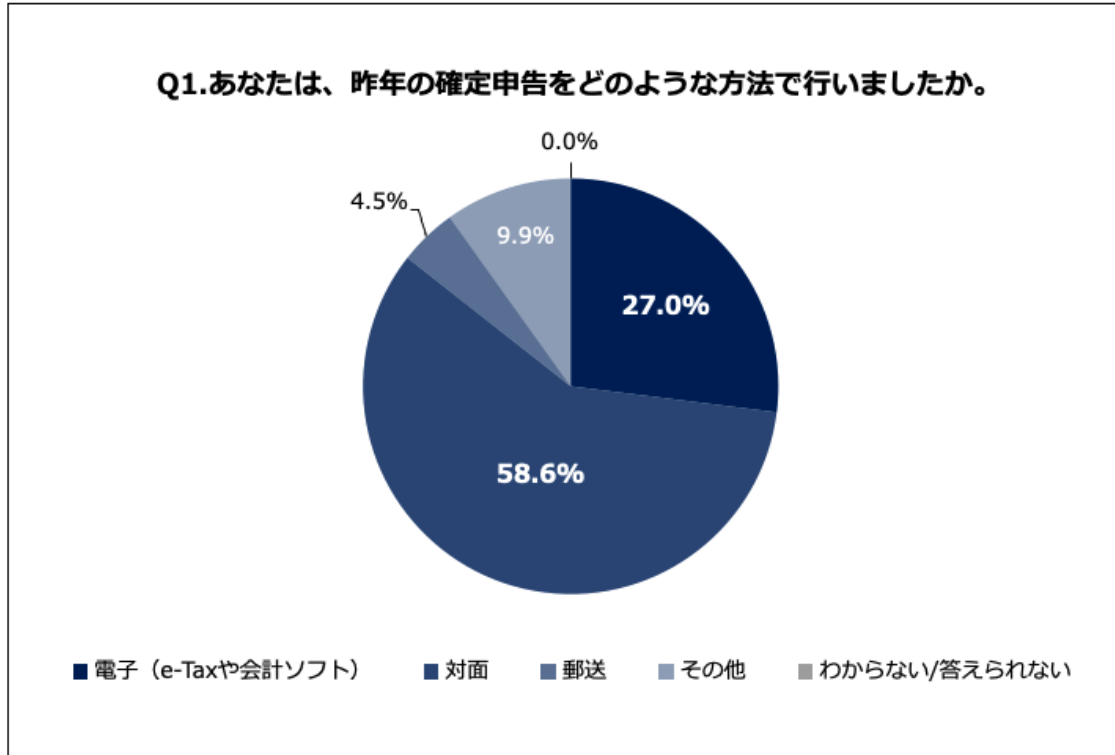
調査期間：2021年1月27日～2021年1月27日

有効回答：昨年確定申告を行い、今年も確定申告を行う予定の人かつ

昨年対面相談を行った人 111 名

■ 昨年の確定申告、「電子（e-Tax や会計ソフト）」で対応した人は、27.0%

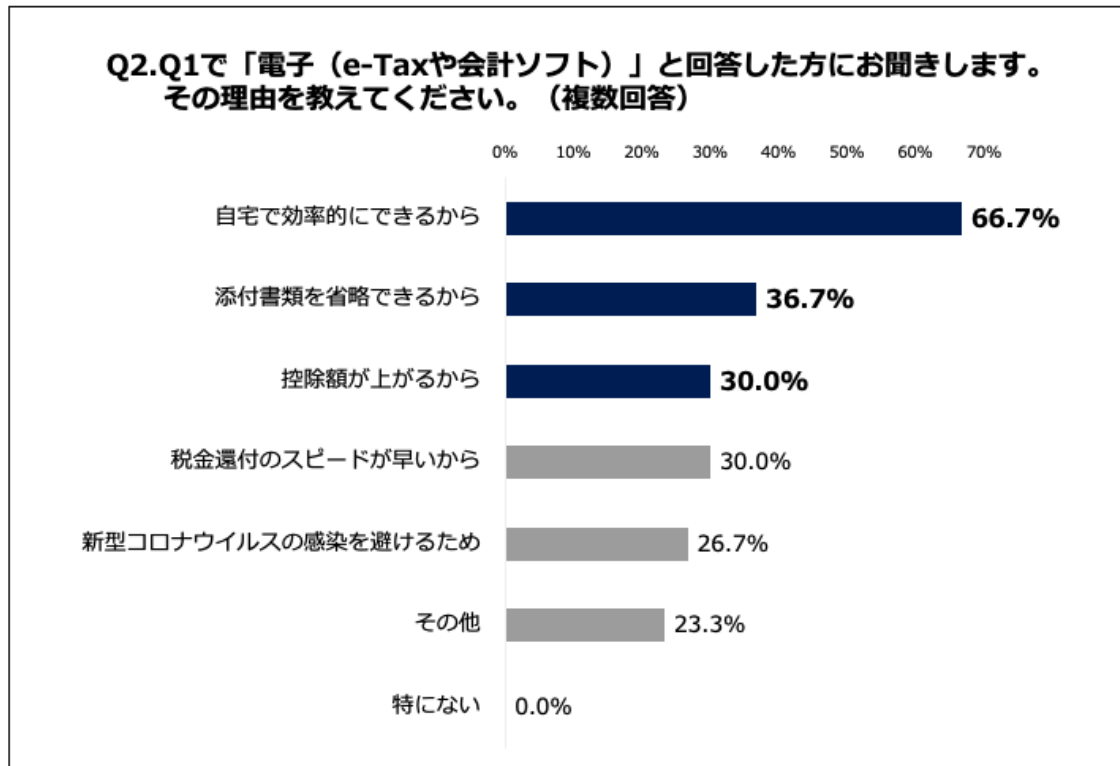
「Q1.あなたは、昨年の確定申告をどのような方法で行いましたか。」（n=111）と質問したところ、「電子（e-Tax や会計ソフト）」が 27.0%、「対面」が 58.6%という回答となりました。



- ・電子（e-Tax や会計ソフト）：27.0%
- ・対面：58.6%
- ・郵送：4.5%
- ・その他：9.9%
- ・わからない/答えられない：0.0%

■「電子（e-Tax や会計ソフト）」で対応した理由、「自宅で効率的にできるから」が66.7%で最多

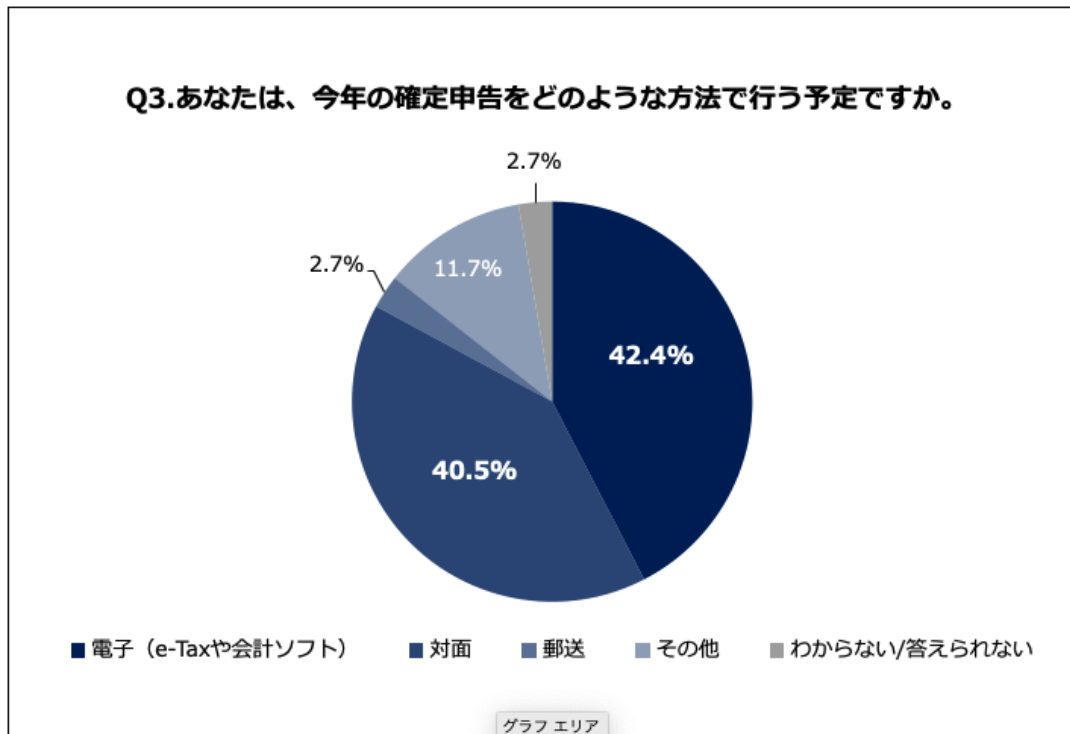
Q1で「電子（e-Tax や会計ソフト）」と回答した方に、「Q2.その理由を教えてください。（複数回答）」（n=30）と質問したところ、「自宅で効率的にできるから」が66.7%、「添付書類を省略できるから」が36.7%、「控除額が上がるから」が30.0%という回答となりました。



- ・ 自宅で効率的にできるから：66.7%
- ・ 添付書類を省略できるから：36.7%
- ・ 控除額が上がるから：30.0%
- ・ 税金還付のスピードが早いから：30.0%
- ・ 新型コロナウイルスの感染を避けるため：26.7%
- ・ その他：23.3%
- ・ 特にない：0.0%

■今年の確定申告「電子（e-Tax や会計ソフト）で行う予定」という回答が42.4%

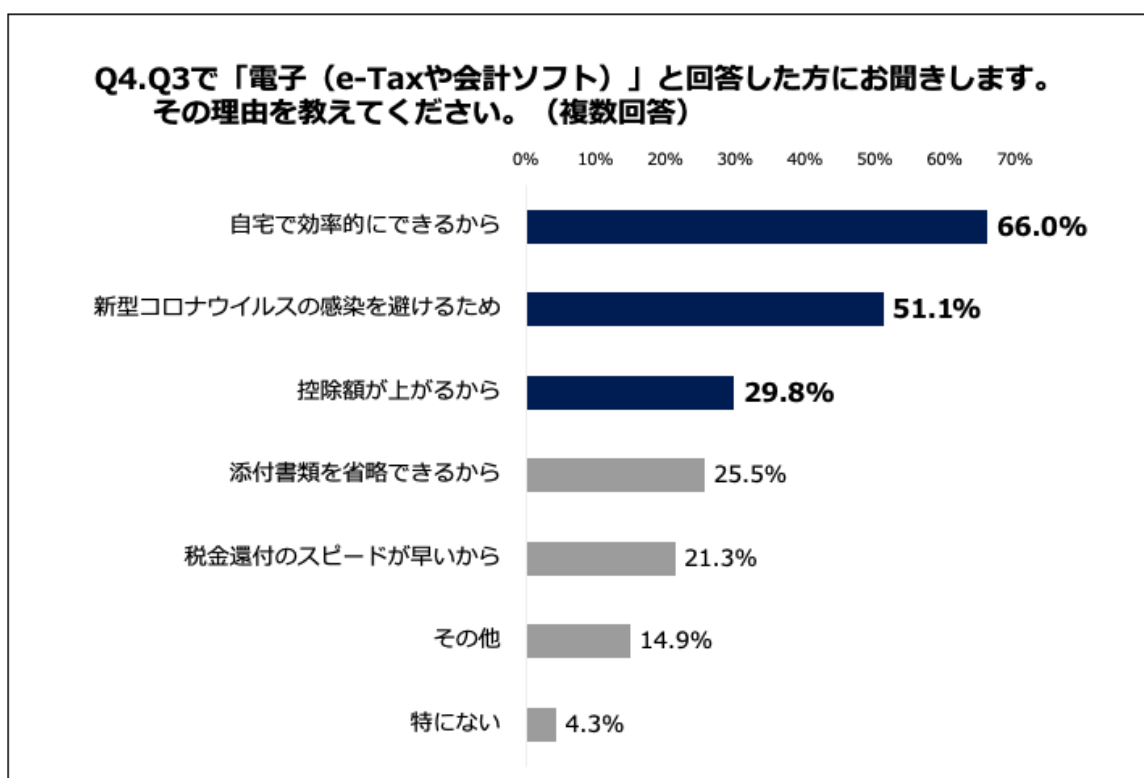
「Q3.あなたは、今年の確定申告をどのような方法で行う予定ですか。」（n=111）と質問したところ、「電子（e-Tax や会計ソフト）」が42.4%、「対面」が40.5%という回答となりました。



- ・ 電子 (e-Tax や会計ソフト) : 42.4%
- ・ 対面 : 40.5%
- ・ 郵送 : 2.7%
- ・ その他 : 11.7%
- ・ わからない/答えられない : 2.7%

■理由として「自宅で効率的にできるから」が66.0%で最多、他にも「新型コロナウイルスの感染を避けるため」という声も

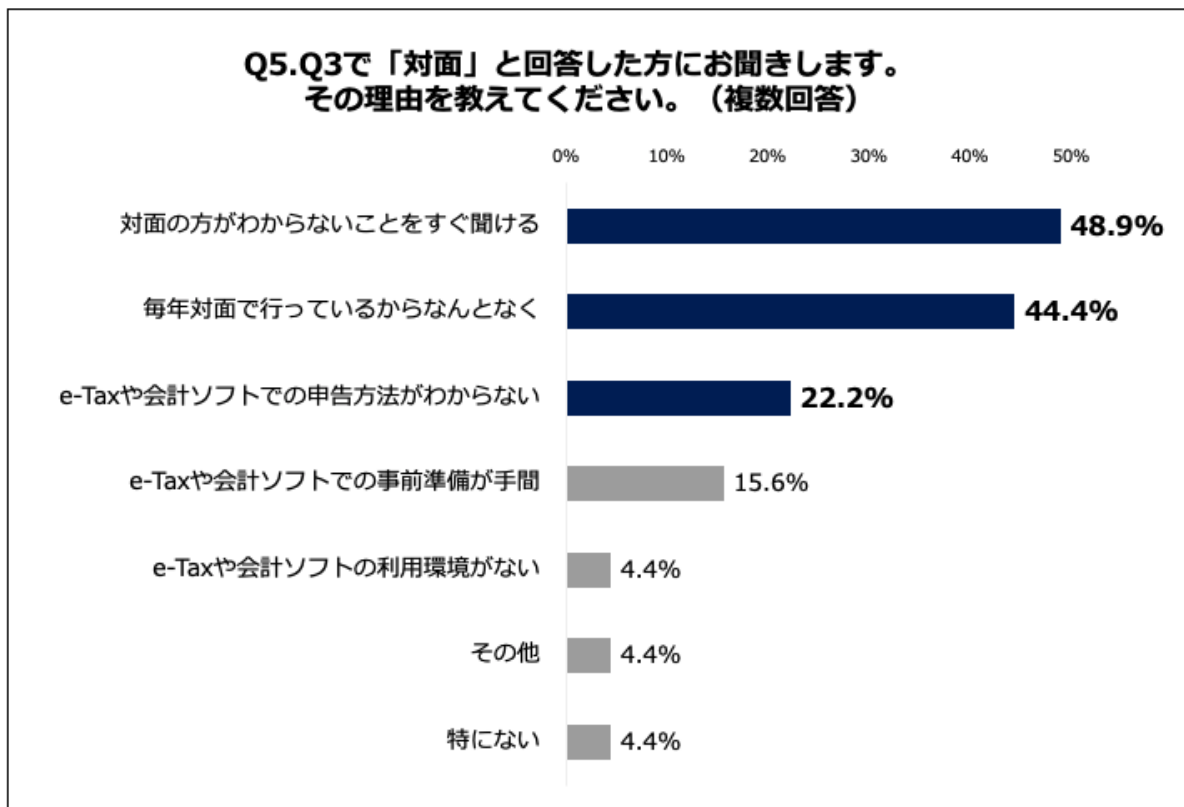
Q3で「電子 (e-Tax や会計ソフト)」と回答した方に、「Q4.その理由を教えてください。(複数回答)」(n=47)と質問したところ、「自宅で効率的にできるから」が66.0%、「新型コロナウイルスの感染を避けるため」が51.1%、「控除額が上がるから」が29.8%という回答となりました。



- ・ 自宅で効率的にできるから : 66.0%
- ・ 新型コロナウイルスの感染を避けるため : 51.1%
- ・ 控除額が上がるから : 29.8%
- ・ 添付書類を省略できるから : 25.5%
- ・ 税金還付のスピードが早いから : 21.3%
- ・ その他 : 14.9%
- ・ 特になし : 4.3%

■ 「対面」と回答した人の理由、「対面の方がわからないことをすぐ聞ける」 48.9%、「なんとなく」44.4%

Q3で「対面」と回答した方に、「Q5.その理由を教えてください。(複数回答)」(n=45)と質問したところ、「対面の方がわからないことをすぐ聞ける」が48.9%、「毎年対面で行っているからなんとなく」が44.4%、「e-Taxや会計ソフトでの申告方法がわからない」が22.2%という回答となりました。

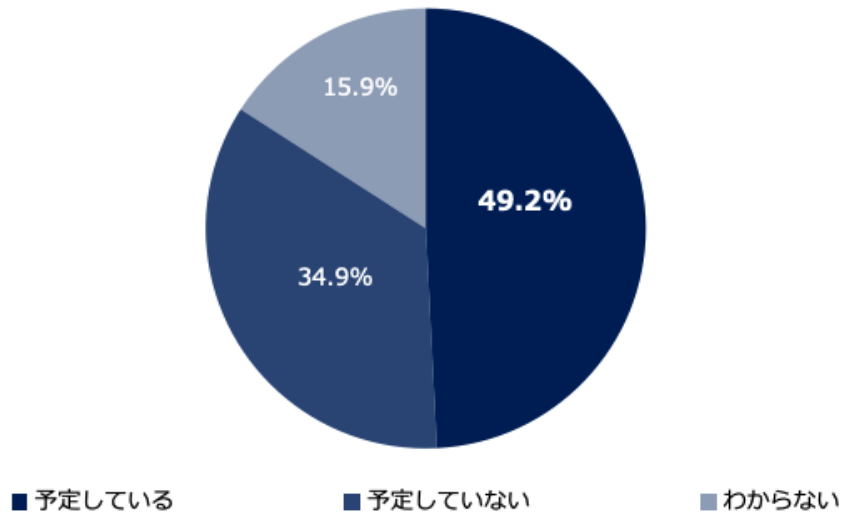


- ・ 対面の方がわからないことをすぐ聞ける : 48.9%
- ・ 毎年対面で行っているからなんとなく : 44.4%
- ・ e-Tax や会計ソフトでの申告方法がわからない : 22.2%
- ・ e-Tax や会計ソフトでの事前準備が手間 : 15.6%
- ・ e-Tax や会計ソフトの利用環境がない : 4.4%
- ・ その他 : 4.4%
- ・ 特になし : 4.4%

■ 対面での相談や面談を予定している人 49.2%

Q3で「電子(e-TAXや会計ソフト)」「郵送」「その他」のいずれかを選択した方に、「Q6.あなたは今年、確定申告をするにあたって、対面での相談や面談を予定していますか。」(n=63)と質問したところ、「予定している」が49.2%という回答となりました。

Q6.あなたは今年、確定申告をするにあたって、
対面での相談や面談を予定していますか。

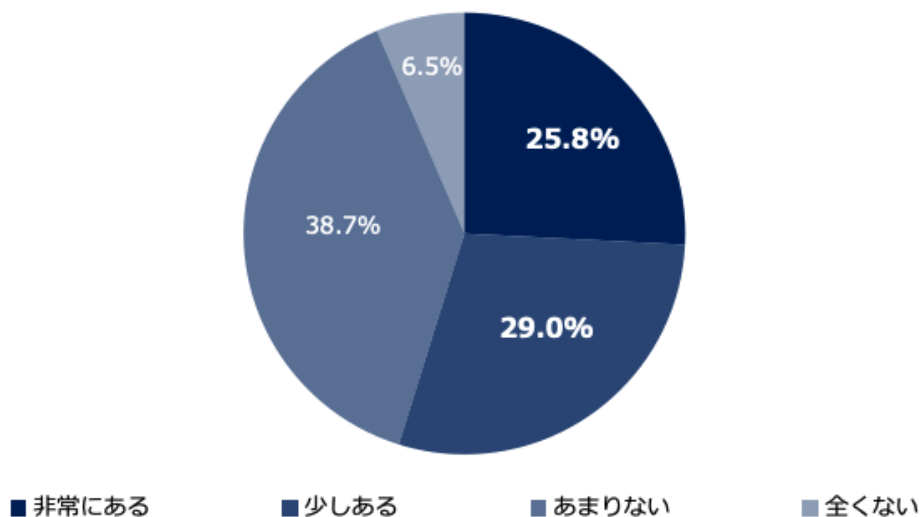


- ・ 予定している : 49.2%
- ・ 予定していない : 34.9%
- ・ わからない : 15.9%

■ 相談や面談を対面で行うことに対して「抵抗がある」人 54.8%

Q6で「予定している」と回答した方に、「Q7.コロナ禍において、確定申告をするにあたっての相談や面談を、対面で行うことに抵抗はありますか。」(n=31)と質問したところ、「非常にある」が25.8%、「少しある」が29.0%という回答となりました。

Q7.Q6で「予定している」と回答した方にお聞きします。
コロナ禍において、確定申告をするにあたっての相談や面談を、
対面で行うことに抵抗はありますか。



- ・非常にある : 25.8%
- ・少しある : 29.0%
- ・あまりない : 38.7%
- ・全くない : 6.5%

■まとめ

今回は、コロナ禍でより加速する電子化の流れと確定申告の関係性について、「昨年確定申告を行い、今年も確定申告を行う予定の人かつ昨年対面相談を行った人」を対象に、実態調査を実施しました。

結果として、昨年の確定申告を「電子（e-Tax や会計ソフト）」で対応した人は、27.0%だったのに対し、今年の確定申告を「電子（e-Tax や会計ソフト）で行う予定」と回答した人は42.4%という結果に。昨年に比べて15%の人が電子化へと切り替える予定のようです。理由としては「自宅で効率的にできるから」「新型コロナウイルスの感染を避けるため」などの意見が多数見受けられました。

一方で、「対面の方がわからないことをすぐ聞ける」など理由から、今年も49.2%の人が「対面」で確定申告を行うと回答。しかし、コロナ禍において対面で相談などを行うことに対して「抵抗がある」と回答した人は54.8%いることがわかりました。

確定申告など、複雑な手続きにはつつい担当者聞きながら対面で進行することで安心感を得たいと思ってしまうがちですが、新型コロナウイルスの影響による三密回避を目的として、今年は多くの人が電子での確定申告を予定しています。オンラインでも申告者が安心して確定申告を実施出来るよう、今後手厚いオンラインサポートを展開していくことが、現場には求められています。

■会社概要

会社名 : ペーパーロジック株式会社 (<https://paperlogic.co.jp>)
所在地 : 東京都品川区東五反田一丁目6番3号 いちご東五反田ビル3階
代表 : 代表取締役 横山 公一
設立 : 2011年4月27日
資本金 : 9億7,727万5千円 (2019年6月18日現在)
事業内容 : 経理・総務・法務の領域で、法律で原本保管を義務付ける書類を完全にペーパーレス化（紙原本廃棄）するクラウドソリューションを提供しています。

【PR に関するお問い合わせ先】

ペーパーロジック株式会社 PR 事務局（株式会社ベイニッチ内） 担当：福澤
TEL : 03-6447-4440 e-mail : paperlogic@baynich.jp